



道東の常呂川上流、置戸町に位置する鹿ノ子ダムは、洪水調整やかんがい<sup>(注1)</sup>、上水道等の多目的ダムとして、昭和43(1968)年から調査を開始、15年の歳月をかけ昭和58(1983)年に完成しました。周囲13.4kmのダム湖「おけと湖」は、豊かな自然に囲まれ、キャンプや釣り、バードウォッチング、カヌーなどのアウトドアエリアとして親しまれています。

### 多目的ダムとして昭和50(1975)年に建設着工

道東の常呂川は、オホーツク海に流れ出る一級河川で、古くは大正時代から改修事業が行われてきました。主に無堤地区の解消を重点とした工事が進められてきましたが、昭和37(1962)年、同39(1964)年と洪水による被害が相次ぎ、同河川の治水事業計画は根本的な見直しを迫られることになったのです。

一方、北見市およびその周辺町村は急激な都市



写真—1 見晴台から眺める「おけと湖」

化による人口増から、上水道用の新たな水源が必要となり、さらに当時の常呂川は渇水傾向にあり、流域のかんがい用水対策も緊急な課題となっていました。

このことに対応すべく、北海道開発局は鹿ノ子ダムを中核とする常呂川流域の総合開発計画を立案し、昭和43(1968)年から北海道河川総合開発事業調査を開始。同50(1975)年には洪水調節と利水のための多目的ダムとして、堤高(ダム本体の高さ)55.5mの重力式コンクリートダム<sup>(注2)</sup>の建設がスタートしました。

### 計画から本格着工まで15年の歳月をかけて完成

鹿ノ子ダムの建設の経緯を詳しく説明しますと、まず昭和43(1968)年に、雨量・流量データの収集、地形平面図の作成など、ダム建設の予備調査を開始。さらに、同45(1970)年には本格的な地形・地質調査を行い、ダム地点を決定し、翌年には地層状況把握のための調査試験が行われました。

また、ダム本体の材料となるコンクリート骨材(石材)の分布状況が調査され、昭和47(1972)年からは実施計画調査に着手。地形・地質調査、水没する土地の測量、工事用道路の設計などが行われました。

昭和50(1975)年にはいよいよ建設に着手。まず工事用道路の改良工事が始められ、本格的な工事開始を前に水没地の補償基準が妥結されました。

昭和53(1978)年には、ダム堤体基礎部の掘削作業、水没する町道・林道の付替道路工事<sup>(注)3</sup>が始まり、翌年から本格的な本体工事に着手します。

工事はその後順調に推移し、本体工事、付替道路工事の完了に続いて、昭和58(1983)年にはダム管理設備も完成。試験湛水<sup>(注)4</sup>とダム周辺整備工事を行い、計画から15年の歳月と総事業費192億円をもって、同年9月鹿ノ子ダムは完成しました。

## 地域の安全と暮らしを守るダムの機能

鹿ノ子ダムは、多目的ダムとして次の機能を併せ持っています。

### 1. 洪水調整計画

洪水期間にはあらかじめ水位を一定の高さ以下にしておき、洪水時には水量を貯留調整、下流の洪水被害を軽減します。

### 2. 流水の正常な機能維持

ダムの下流、常呂川沿川の既得用水<sup>(注)5</sup>の補給と維持流量を確保し、河川の正常な機能を維持・増進します。

### 3. かんがい計画

常呂川沿川の北見市、置戸町の1市1町にわたる、たまねぎ畑572haに対し、5月1日から7月31日までの間のかんがい用水を補給します。

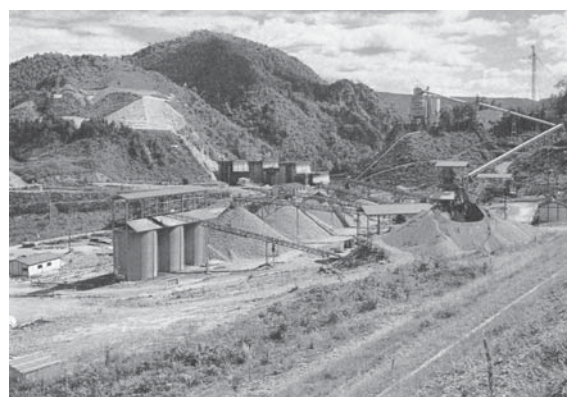
### 4. 上水道計画

北見市、置戸町、訓子府町に対し、1日最大54,300m<sup>3</sup>の水道用水の取水を可能にします。

\* 端野町、常呂町、留辺蘂町は、平成18(2006)年に北見市と合併。

## 憩いの場としての「おけと湖」

鹿ノ子ダムの「おけと湖」の周辺は、野鳥や野草の宝庫で、湖では夏はヤマメやアメマス、冬はワカサギやニジマスなどの釣りや、滝探索といったアウトドアなど自然の豊富な憩いの場として親しまれています。また夏には、「おけと湖水まつり」が行われ多くの観光客で賑わいます。



写真一2 工事中の堤体(昭和56年)



写真一3 堤体下流面(昭和58年完成)



写真一4 おけと湖とワカサギ釣り

- (注)
1. 農作物の生育に必要な水を、水路を引くなどして供給し、耕作地を潤すこと。
  2. ダム本体の重さで貯水池の水圧に耐え水をせき止める構造のダム。
  3. ダムによって水没する道路の機能を果たさせるために付け替える道路の工事。
  4. ダムが通常の管理に移行する前に、満水位以下の範囲内で貯水位を上昇および下降させ、ダム、基礎地盤および貯水池周辺地山の安全性を確認するために実施するものです。
  5. ダム建設以前から利用していた取水の権利。